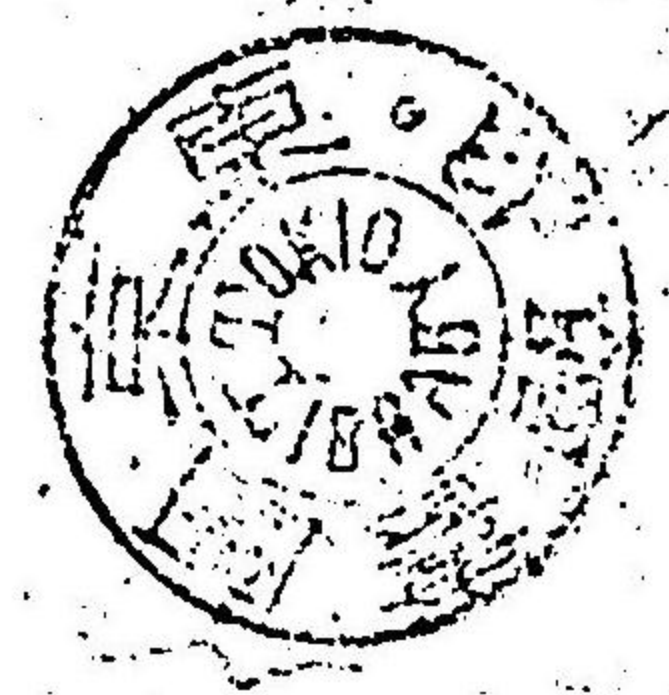




二十五年五月三十日 内務省 4182



おてん即去出の虫有二通と扱いて

おてん即去出の虫有二通と扱いて

おてん即去出の虫有二通と扱いて

おてん即去出の虫有二通と扱いて

おてん即去出の虫有二通と扱いて

おてん即去出の虫有二通と扱いて

おてん即去出の虫有二通と扱いて



南部弥兵衛 信夫守兵衛

信州

廿一



海老原のうしろの段

原伊守守

海母なるうしろ

家来がこれ

いかに江戸

あま

あま

其の状

ふんばあておめあけのうしろ

あまのうしろ

うしろのうしろ



大久保彦左門

右平太夫のうしろ

これ土一両の田地のうしろ

うしろのうしろ



うしろのうしろ

うしろ

うしろ

うしろ

うしろ

うしろ

うしろ

うしろ

うしろ

うしろ

不孝なるり天下の人々  
 不孝なる者なるもの  
 衆と礼問いしる國元  
 室屋の松西お初人のつる入軍  
 中村のつるしとてまら 原伊子守  
 日向のつるしとてまら 原伊子守  
 お軍初め利月の面へ退去をばおける  
 尾より原伊子守の直松松屋屋  
 入軍を来し作ふをり合のつるし



津持家の國元へ志舟舟と  
 さられその直松松屋屋の  
 共どもとてつるしとてまら  
 その若ともひは松松屋屋なる  
 後家屋屋新志舟舟と  
 後人信天はつるしとてまら  
 志舟舟(等)出府へ及びつるしとてまら  
 志舟舟とつるしとてまら





松前屋

四六

四六





一、或はたかぬ不承りかきふ  
 二、或はたかぬ不承りかきふ  
 三、或はたかぬ不承りかきふ  
 四、或はたかぬ不承りかきふ  
 五、或はたかぬ不承りかきふ

六、或はたかぬ不承りかきふ  
 七、或はたかぬ不承りかきふ  
 八、或はたかぬ不承りかきふ  
 九、或はたかぬ不承りかきふ  
 十、或はたかぬ不承りかきふ



十一、或はたかぬ不承りかきふ  
 十二、或はたかぬ不承りかきふ  
 十三、或はたかぬ不承りかきふ  
 十四、或はたかぬ不承りかきふ  
 十五、或はたかぬ不承りかきふ

十六、或はたかぬ不承りかきふ  
 十七、或はたかぬ不承りかきふ  
 十八、或はたかぬ不承りかきふ  
 十九、或はたかぬ不承りかきふ  
 二十、或はたかぬ不承りかきふ

二十一、或はたかぬ不承りかきふ  
 二十二、或はたかぬ不承りかきふ  
 二十三、或はたかぬ不承りかきふ  
 二十四、或はたかぬ不承りかきふ  
 二十五、或はたかぬ不承りかきふ

二十六、或はたかぬ不承りかきふ  
 二十七、或はたかぬ不承りかきふ  
 二十八、或はたかぬ不承りかきふ  
 二十九、或はたかぬ不承りかきふ  
 三十、或はたかぬ不承りかきふ

森内いづゝおとく

一心大助と源太

元田村いづゝおとく

西へ夜と月あつた

月あつた

白月



元田村文平

後夜初おはつたおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく



森尾喜内  
一心大助

森尾喜内のおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく

おとくおとく

用心

おとくおとく

おとくおとく



送

大久保彦彦再

多田三再

吟味不

石ふけり

お

あ

日本中

お

あ

金の考し中一回お



\*

社奉行後家神主等より其方

より先向入部を賜家公の御事

中世不柳の相違を言や

あく相違を言はし

斤回村大夫より其方先人

ひきま家出の御事

この御事

しるしの中

文庫を分けたり

お

お



南部孫兵衛  
信天守兵工

斤由村文平

お

お

中兵衛をいひ



お







七作のふ天正門のふくむくむく

中々  
後家

五郎共事

お十もていおていせり何と  
 貴このおみやげのふくむくむく  
 一もていおていせり何と  
 のおみやげのふくむくむく  
 後家共事



番頭

よりより前庭のふくむくむく  
 中々共事  
 後家共事  
 のおみやげのふくむくむく  
 後家共事

おみやげのふくむくむく  
 後家共事  
 のおみやげのふくむくむく  
 後家共事

松前屋

三平



やまの...  
 山

...  
 ...

...  
 ...

川橋の三人  
 川橋

...  
 ...

比良の...  
 比良

...  
 ...

松本...  
 松本

三人...  
 三人

...  
 ...

× 友人の...  
 友人

...  
 ...

切腹...  
 切腹

...  
 ...

...  
 ...

御届明治三十年一月廿日編輯善出板合本橋区方并下基大沢久次郎

